



▲真剣な表情で民話を朗読する万字さん

民話を語り続けて25年
日本人の心を伝えます

まんじ
やすこ
万字 康子さん

(前田在住)



▲聴衆を前に民話を語る様子

万字さんは、民話の朗読ボランティアをしています。きっかけは、25年前、テレビで放映された民話語りを偶然見たこと。以来、幼稚園、病院などで、子どもからお年寄りまでたくさんの人々に民話を語り続けています。万字さんが民話語りが一番努力することは、民話を暗記することだそうです。そして、覚えた民話を言葉の強弱・イントネーションに気を付けながら生き生きと語ります。また、「民話を声に出して語ることで、本来日本人が持っている美しい心や自然あふれる情景などを、聴いている皆さんに、より鮮明に感じてもらえれば」と話します。「私は子育てをしている時も、民話語りを続けてきました。何事も『自分はこれをやりたい』と思えば、物事は必ず続けられますよ」と笑顔で話してくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係
ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>
〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目
☎ 681-2400内線224 FAX681-6639